



越中福岡の

菅笠製作技術保存会通信

— 国の重要無形民俗文化財指定 —

2020年1月 No.29

【発行】越中福岡の菅笠製作技術保存会

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12
高岡市役所福岡庁舎 地域振興課内
TEL.0766-64-1422 FAX.0766-64-5344

<http://sugegasa.web.fc2.com>



御菅蓋(菅笠)に使われた、約12kgのスゲ！
出荷の様子／H30.7.31



大阪深江の保存会

菅笠2000年 つなぐ一針



大嘗祭で陛下使用

技術継承へ菅田開製

毎日新聞 令和元年11月8日(金)掲載

新年のご挨拶

越中福岡の菅笠製作技術保存会
会長 城山 孝

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

ご存知の通り「菅笠」は、長く日常生活の中に溶け込み、「日本の伝統産業と文化」を物語る道具の一つとっております。昨年の大嘗祭^{※1}では、両陛下が御菅蓋(おかんがい)と呼ばれる菅笠をお召しになり、また6年前の伊勢神宮の式年遷宮^{※2}には、神宝として菅笠が奉納されました。これらの菅笠には、当地区の菅が使用されており、毎日新聞を通じ全国にも紹介されました。

当地区の菅笠づくりは、高齢の職人が応えており、厳しい現状であります。保存会では、今年も菅笠づくり講座などを予定しており、菅笠づくりの技術・技法の継承や、産地全体の振興発展を考えており、皆様方の積極的な参加をお願いする次第であります。

令和2年の新しい年が、皆様方にとって幸多い年になるよう御祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。



福岡産スゲ 陛下の笠に



大嘗祭で福岡地域のスゲを使った菅笠が使われ、
喜びを語る城山会長(射水神社)

生産者「選ばれ大変名誉」

大嘗祭で天皇陛下の頭上に差し掛ける「御菅蓋」(菅笠)に、高岡市福岡地域の「越中福岡の菅笠製作技術保存会」のメンバーが育てたスゲが使われる。生産者は「地元のスゲが選ばれ大変名誉なこと」と喜んでいる。

御菅蓋は大嘗祭で、陛下が「悠紀殿」や「主基殿」という社殿に移動される際に用いられる。直径約1・2尺あり、約千本のスゲが使われている。同保存会の城山孝会長(84)＝同市福岡町舞谷＝によると、昨年4月に伊勢神宮を通じて依頼があり、福岡地域のスゲの生産組合2

北日本新聞
令和元年11月14日(木)掲載



団体と協力して育て、計約12*を厳選した。御菅蓋は古くから菅笠の生産地として知られる大阪市深江地域の笠縫保存会が製作した。御菅蓋に使われているスゲと同時期に刈り取られたスゲは、14日に高岡市古城の射水神社で行われる大嘗祭当日祭に奉納される。13日に同神社を訪れた城山会長は「色合いが良い上質なスゲができた。福岡地域の伝統継承につながればうれしい」と話した。(西部本社・田中智大)

※1 大嘗祭は、稲作農業を中心とした我が国の社会に古くから伝承されてきた収穫儀礼に根ざしたものであり、天皇が即位の後、初めて、大嘗宮において、新穀を皇祖(天照大神)及び天神地祇(すべての神々)にお供えになって、みずからもお召し上がりになり、皇祖及び天神地祇に対し、安寧と五穀豊穡などを感謝されるとともに、国家・国民のために安寧と五穀豊穡などを祈念される儀式である。(宮内庁HPより)

※2 神宮には内宮にも外宮にもそれぞれ東と西に同じ広さの敷地があり、式年遷宮は20年に一度宮地(みやどころ)を改め、古例のままにご社殿やご神宝をはじめ全てを新しくして、大御神に新宮(にいみや)へお遷りいただく神宮最大のお祭りです。1300年にわたり繰り返されてきた式年遷宮は、20年に一度造り替えられる常に瑞々しいご社殿で、永遠に変わらないお祭りが行われることに大きな意義があります。平成25年には62回目古式のままに行われました。(伊勢神宮HPより)

活動報告

■菅笠づくり後継者育成



笠骨づくり職人育成

【期間】 H31.4 ~ R2.3

【場所】 講師宅

【講師】 中嶋尋之さん

【後継者】 第3期生 坂林泰子さん

第4期生 谷道文夫さん

◇ヘルメット笠や市女笠などの笠骨づくりを学んでいます。



菅笠づくり後継者育成講座 (主催/高岡市)

【期間】 笠骨/R1.6 ~ R2.3 月2回

笠縫い/R1.8 ~ R2.3 月2~4回

【場所】 笠骨/福岡庁舎2階 和室

笠縫い/福岡庁舎3階 大会議室

【講師】 笠骨/中嶋尋之さん、北守栄一さん

中山孝志さん(臨時講師)

笠縫い/橋本レイ子さん、松平カヅミさん

地崎知江さん(臨時講師)

【受講生】 笠骨/6名、笠縫い/16名

◇10.23(水)に、笠骨づくりと笠縫いの合同講座を行いました。



マンツーマン指導(笠縫い)

【期間】 R1.8 ~ R2.3 月1~2回

【場所】 福岡庁舎1階 菅笠展示コーナー畳スペース

【講師】 橋本レイ子さん

【受講生】 茂古沼真知子さん

◇受講生と講師が、同じ笠を同時に製作し、工程確認を行いながら学んでいます。



リメンバー笠縫い講座

【開催日】 R1.11.30

【場所】 福岡庁舎1階 102 研修室

【講師】 橋本レイ子さん

【受講生】 笠縫い講座修了生8名

◇笠縫い講座修了生が久々に集まり、6寸角笠(竹骨)を縫いました。

■菅笠づくり体験・実演 ほか



まちづくり出前講座

菅笠の歴史・スゲのコースターづくり体験

【開催日】 R1.8.9

【場所】 二上公民館

【講師】 歴史について：高岡市地域振興課

柴田桂美

スゲのコースターづくり指導：菅っこメイト

糸岡淑子さん、村岡節子さん

【受講者】 まんよう子ども会の皆さん

◇菅笠の歴史を学び、実際に菅笠を被ってみました。



福岡町つくりもんまつり

ミニ菅笠づくり体験 (主催/高岡市)

【開催日】 R1.9.23

【場所】 さんちゃんぴん蔵

【講師】 橋本レイ子さん、松平カヅミさん

地崎知江さん

【参加者】 50名

◇悪天候の中ご来場いただき、ありがとうございました。



まなびっこフェスティバル

ミニ菅笠づくり・スゲコースターづくり体験

【開催日】 R1.10.5

【場所】 二上まなび交流館

【講師】 菅笠づくり指導：

大野記代枝さん、地崎知江さん

スゲのコースターづくり指導：菅っこメイト

竹村与志子さん、大野弘子さん

【参加者】 菅笠20名、コースター33名

◇幼児から大人まで、幅広い年齢の方に、菅に触れていただくよい機会になりました。



ふくおか産業フェスティバル

笠縫い実演

【開催日】 R1.11.3

【場所】 ふくおか総合文化センター エントランス

【実演者】 笠縫い受講生：

佐野智賀子さん、高田ふじ子さん

◇笠縫い受講3年目の2名が、大野笠の笠縫い実演を行いました。

〈理事会開催日〉

10/3(木) R1 第2回理事会(福岡庁舎)

かさぼんこからのお知らせ

新元号「令和」を記念して、かさぼんこのオリジナルタオルを作ったにゃん♪

理事会で、新作イラスト4案の中から、「次郎長笠を被った粋なかさぼんこ」が選ばれたにゃんよ！

旅行や温泉のおともや、ご家庭では是非使ってくださいにゃん！



©山下やすみ



新作イラスト
打ち合わせの様子